

国語科学習指導案

指導者 さくら級

わかば級

介助員

1. 日 時 2008年2月7日(木) 2校時
2. 場 所 さくら級
3. 児童数 さくら級(知的) 男1名、女3名
わかば級(情緒) 男4名
4. 単元名 「劇をしよう」・・・ももたろう
5. 単元について (研究テーマ 自分の思いや要求を伝える力を育てよう)

○単元観

「桃太郎」のお話は子どもたちもよく知っており、きびだんごをもらう繰り返しや鬼ヶ島での闘いなど、子どもたちの興味を引きやすい内容である。

劇活動をしていく場合も、登場人物の特徴がわかりやすく、動きも多く、児童の実態に応じて表現することができる教材である。発声や発音が不十分な児童もいるが、CDを使ったオペレッタで演じるので、子どもたちもせりふの失敗をおそれずに、のびのびと活動できることと思われる。

○児童の実態

	児童番号	学年・性別	生活面及び言語活動全体に関わる実態
さ く ら ・ 知 的	1	年女子	ひらがなが20文字程度読めるようになった。何事にも意欲はあるが、一人でやる自信がない。
	2	年女子	ひらがな読んで書ける。発音に不明瞭なところがある。
	3	年女子	ひらがな読んで書ける。自分の思いが通らないと固まってしまったりするが、興味のある物にはねばり強く取り組める。
	4	年男子	表出言語はない。
わ か ば ・ 情 緒	5	年男子	1年生の学習が理解できる。周囲を自分中心に動かしたがる。精神的に不安定なところがあり、他人を傷つける言動や行動が見られる
	6	年男子	国語、算数は2年生の教室で学習。集団で行動することは苦手。
	7	年男子	2年生になり読む、書くことに大きな進歩が見られる。
	8	年男子	

○指導観

劇活動として、昨年は「大きなかぶ」に取り組んだ。絵本だけでは興味が持てなかったり、読み取りがむずかしい児童もいるが、劇活動にして動作化することで、言葉の理解が広がったり、その内容を楽しむことができるようになっていく。

絵本や物語を楽しむことは言葉の力を豊かにし、伝え合う力を育てることにつながる。そのために、絵そのものを読み取る、パネルシアターやペープサートで動かしながら読み取る、また、実物を見たり触れたりしながら、言葉の意味をつかむような指導を行ってきた。さらに、動作化やせりふで表現したりすることで、読み取りを確かにしていけるような活動を行っている。

本単元の指導にあたっては、まず、紙芝居で「桃太郎」のお話を読み聞かせることから始めたい。また、

ビデオや絵本も活用しながら、ストーリーの理解を深めていきたい。

「配役」については、どうしても自分中心になりがちな児童がいるが、できるだけみんなで話し合っ
て決めていきたい。やりたい役を自分で考え、自分が希望する役を発表できるかと言うことに重点を置き、
人前で自分の気持ちをその子なりに表現できるようにしていきたい。

劇を作っていく中で一人ひとりのがんばりを引き出し、みんなでひとつの劇を作り上げる喜びを実感さ
せたいと思う。

6. 単元目標

- 自分なりに身体で表現することができる。
- みんなで力を合わせて、劇を楽しむことができる。

7. 単元の評価規準

観点	評価規準
関心・意欲・態度	興味を持ってお話を聞いたり、話題からそれないように話し合おうとする。
話す・聞く	どんな話かがわかっている 自分の意見を言ったり、友だちの意見を最後まで聞いたりしている。

8. 単元の指導計画

時間	指導内容	ねらい
1 (本時)	桃太郎の話がわかり、配役を考える	劇活動に興味を持つ。 自分の考えを言う。
2	配役をきめ、CDを聞く	友だちの意見を聞く。
3～15	劇の中でのせりふや身体表現を工夫して練習する	動作しながら決められたせりふを言う。
16～19	自分に必要な持ち物や、小道具、大道具を協力して作る	協力しながら劇を完成させる
20	発表する	みんなの前で大きな声で演技する

9. 本時の目標

- 紙芝居を見てどんな話かがわかる。
- 自分のやりたい役を考え、発表する。

10. 本時の評価

児童番号	関心・意欲・態度	話す・聞く力
1 2 3	お話の内容を理解し、自分の意見を表現しようとする。	自分の考えを発表できる。
4	介助されながらお話を見ようとしたり、学習活動に参加しようとする。	介助されながら、配役の絵カードをとることができる
	お話の内容を理解し、集団の中で話し合いに積極的に参加しようとしている。	友だちの発表も聞くことができ、自分の考えを進んで言える。

1 1. 展開

学習活動	指導上の留意点
1. 桃太郎の劇について学習することを 知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・劇をすることや登場人物に興味を持たせる。
2. 桃太郎の歌をうたう。	<ul style="list-style-type: none"> ・元気よく歌えたか。
3. 桃太郎のお話を聞く。(紙芝居)	<ul style="list-style-type: none"> ・何の役をやりたいか考えながら聞くように助言する。
4. どんな話だったかを振り返る。	<ul style="list-style-type: none"> ・どんな登場人物が出てきたか、どんな内容の話だったかを思い出させる。
5. 話を聞いて自分のやりたい役を 考え、発表する	<ul style="list-style-type: none"> ・一人ひとり自分のやりたい役を発表する。 ・言葉で表現できない児童には教師が様子を見ながら絵カードを見せるなどの援助をする。 ・全員がなんの役になりたいかを意思表示させる。 ・友だちの発表もしっかりと聞けるようにさせる。
6. 次時の学習内容を確認する	